

## みたか子どもサミット

～三鷹子ども憲章をつくるための子どもミーティング（第1回）～ <要旨>

日 時 平成19年5月30日（水）午後3時15分～5時  
場 所 三鷹市役所 市長公室  
出席者 市立小学校（8校）代表者 計15人  
清原市長、貝ノ瀬教育長  
（司会 伊藤企画経営室長）

<議事要旨> この会議録は抄録であり、すべての発言が掲載されているものではありません

【司会】 皆さん、こんにちは。

（一同、「こんにちは」）

【司会】 今日は「みたか子どもサミット」に参加していただき、ありがとうございます。みんな楽しく、終わってみたら、短かった、もっと話したかった、楽しかった、そんなふうに感じてもらえればありがたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

【司会】 それでは早速開会のあいさつを、貝ノ瀬教育長、お願いいたします。

【貝ノ瀬教育長】 それでは皆さん改めまして、こんにちは。

教育長の貝ノ瀬滋と申します。よろしくお願いいたします。私は学校の先生をしていましたが、清原市長さんをお願いされて3年前から教育長の仕事についています。ですから気楽に学校にいるような感じでお話をしてください。

ところで、三鷹市は皆さん方を含めて子どもたちの成長を大事にする、そういう町にしたいと考えています。

私は、全国でいろいろな子どもたちのことを聞きますと、大変心配していることがあります。いじめの問題があったり、親から虐待を受けている子どもがいたり、とても激しい危険にさらされていたりというようなことを聞いてとても心配しています。そういう心配と同時に、私たちは皆さん方の力というものも信じています。それは例えばどんなにいたずら盛りであろうと、ほんとうは心の底ではよくなりたくて願っている、そういう皆さん方、子どもたちだと考えています。

そこで皆さん方、自分自身がもっともっとよくなっていきたくて、人間としてもっと成長していきたくて考えたときに、一体自分は何をしたらいいのか、何を大切にしたらいいのかということも考えてもらいたいし、また同時に私たち大人にこんなことをもっと私たちに対して大切にしてほしいということも考えてもらいたいと思います。ですから

自分たち自身がもっとよりよい人間に、よい市民として成長していくためには、自分自身がどんなことを大切にしたらいいかということ、そして大人の人たちがどんなことをもっと私たちのために大切にしてほしいか、どんなことをもっと考えてほしいかということとをここで話し合っ、出していきたいと思ひます。

それをもとにして私たちは皆さん方がよりよく人間として成長していけるように、そして立派な市民になれるように、そういう子どもの憲章をつくっていきたくて思ひてるところです。ですから皆さん方に直接、お話を聞くことが一番いいだろうとて思ひて、こういう機会を設定いたしました。ですからぜひ学校でもいろいろお話し合ひをしてきた上で、ここに出席していらっしゃると思ひますけれども、その発表と同時に、自分自身の心で感じたこと、そして自分の頭で考えたことを、自分の言葉で話してください。

今日は限られた時間ですけど、みなさん全員が話し合ひに参加できるように工夫をして、お願ひしたいと思ひます。これで私のあいさつを終わります。よろしくお願ひいたします。

【司会】 ありがとうございます。それでは始める前にまず自己紹介をしましょう。Aさんのほうからご自分の学校と、お名前を言ってください。

【Aさん】 市立 小学校のAです。よろしくお願ひします。

【Bさん】 市立 小学校のBです。よろしくお願ひします。

【Cさん】 市立 小学校のCです。よろしくお願ひします。

【Dさん】 市立 小学校のDです。よろしくお願ひします。

【Eさん】 市立 小学校のEです。よろしくお願ひします。

【Fさん】 市立 小学校のFです。よろしくお願ひします。

【Gさん】 市立 小学校のGです。よろしくお願ひします。

【Hさん】 市立 小学校のHです。よろしくお願ひします。

【Iさん】 市立 小学校、Iです。よろしくお願ひします。

【Jさん】 市立 小学校のJです。よろしくお願ひします。

【Kさん】 市立 小学校のKです。よろしくお願ひします。

【Mさん】 市立 小学校のMです。よろしくお願ひします。

【Nさん】 市立 小学校のNです。よろしくお願ひします。

【Oさん】 市立 小学校のOです。よろしくお願ひします。

【Pさん】 市立 小学校のPです。よろしくお願ひします。

【司会】 どうもありがとうございました。じゃあこれからいよいよ意見交換に入ります。ここからは清原三鷹市長にバトンタッチします。よろしくお願いします。

【清原市長】 皆さん、こんにちは。三鷹市長の清原慶子です。これから私の進行で進めさせていただきます。よろしくお願いします。それではただいま教育長からお話をしましたように、私たち三鷹市と三鷹市教育委員会では児童の皆様の声をよく聞きながら、改めて私たち大人が子どもたちのためにしなければいけないこと、子どもの皆さんが自分たちでしなければいけない、したいと思うことをまとめていきたいと考えています。

今日はまず、自分たちが成長していく上で大人に大切にしてほしいことについて話し合っていきたいと思います。

おそらくひょっとしたら同じような発言を前の方がしたのと重ねてしなければならない、あるいはしたいと思うことがあると思います。遠慮なく、前の方が自分と同じような意見を言っても、それが同じであるならばそれを話してくださいね。

ではまずAさんからお願いします。

【A君さん】 出た意見は、現在の生活は化石燃料を中心として動いているので、エネルギーの効率的利用や、資源のリサイクル、エネルギーの多消費な生活スタイルを家庭でも見直してほしい。ほかにも光合成で二酸化炭素を酸素に変えてくれる植物を大切にしてほしい。

【清原市長】 Bさん、お願いします。

【Bさん】 出た意見は公共施設を充実させてほしいです。

【清原市長】 それではCさん。

【Cさん】 はい、私たちはまずやっぱり緑を増やしてほしいというのと、公園を増やしてほしいとか、あとはいう広い公園があるんですけど、夜には電灯が少ないので、いろいろなところに電灯を増やしてほしいというものと、ジブリとか、有名どころがいっぱいあるので、三鷹市らしい雰囲気があるところをいっぱい増やしてほしいという意見が出ました。

【清原市長】 では、Dさん、お願いします。

【Dさん】 僕の学校では、放置自転車をなくして欲しいこと、公園のトイレが汚いことや、地下道が暗いことなどが出てきました。そのことをきちんとすれば犯罪の予防にもつながります。また木登りやボール遊びのできる公園がもっとほしいという意見も出ました。その意見で、木登りやボール遊びのできる公園ができると、気ばらしができる

ようになり、そういうことも犯罪防止には必要だと思います。あとは歩道が狭いこと。これは歩きにくいことや、自転車などで転んでしまうことがあります。あとは風の散歩道のように三鷹らしい名所を増やしてほしいことなどが出ました。

【Eさん】 僕たちの学校では、大人を保護者と学校の先生に分けて、アンケートを実施しました。僕は保護者のほうを言います。

子どもの時間や子ども自身の気持ちや意見を大切に思う気持ち、見守ること。怒るときは怒るなどメリハリのあること。相談しやすい姿勢。一緒にいる時間。学べる環境や習い事などの責任。

子ども側の多くの意見は、子どもの主張を聞いてほしいことや、すぐ怒ったりしないで話を聞く環境をつくってほしいことでした。子どもの時間や気持ちをもっとわかってほしいというものも結構あり、コミュニケーションなど家庭での親子の会話時間がだんだん少なくなっているというのもわかりました。

【清原市長】 はい、それではFさん。

【Fさん】 私は先生に大切にしてほしいことについて話します。子どもたちの個性を見守ること。気持ちをわかってもらうこと。相談しやすい姿勢、学習、授業。態度に責任を持つこと。言葉遣いや厳しさ。子どもの自由な時間。友達同士で先生と会話する時間。みんなの健康を守る。命。というのが出ました。

基本的には親と先生では大切にしてほしいことの内容は大きく違いました。それは子どもが過ごす環境が違うからです。しかし共通して言えることは、子どもの時間、子どもを見守ることを大切に教育してほしいということだと思います。親にも先生にも相談しやすい環境や、時間をもっとつakって、コミュニケーションをお互いに図ることが必要だとも思います。

【清原市長】 はい、それではHさん、お願いします。

【Hさん】 まず、危ないと思ったのが、公園のベンチのペンキとか色がはがれ落ちて、子どもが座るときに、服とか手とかに傷がついて危ないと思いました。それから、最近、時間が遅くても空が明るいので、子どもたちは6時ぐらいまで遊ぶことが多いんですけど、やっぱり公園に街灯がなくてすごく暗くて、危ないと思いました。

【清原市長】 はい、それではIさん、お願いします。

【Iさん】 クラスの中で班に分かれて、班で1枚ずつ紙を配り、それに意見を書いてもらいました。出た意見は子どもの自由を大切にしてほしい。近所づき合いやあいさつ

を大切にしてほしい、テレビやインターネットよりも本の時間を増やしてほしい。それから子どもの犯罪をなくしてほしい。大人は子どもの悪いことを注意したほうがいい。大人は子どもを虐待してはいけない。子どもに八つ当たりなどしないでほしい。子どもの意見を尊重してほしい。環境マナーを守ってほしいなどいろいろな意見が出されました。その結果、大人は子どもを甘やかし過ぎるのも悪いけれども、子どもの意見を少し聞いたり、そういうことが大事だということと、環境のことを将来のために考えてほしいという結論が出ました。

【清原市長】 はい、Jさん、お願いします。

【Jさん】 私たち 小学校の6年1組ではこんな意見が出ました。あいさつを習慣づけることが大切だと思う。子どもの施設を増やしてほしい。自然をもっと大切にしてほしい。相手の気持ちを考えて、やっていいことといけないことを考える大人になりたいと思う。そういう意見です。

【清原市長】 はい、それではKさん。

【Kさん】 私たちの6年1組では大人に大切にしてほしいことは、子どもの気持ち、家族、環境、社会ルールです。2組の意見は、子どものいる前でたばこをすわないでほしい。体に悪い、においが臭い、環境に悪い、やけどをしたことがある、子どもがまねをするなどの理由でやめてほしいということです。

2つ目は子どもを殺すなどの犯罪をなくしてほしい。子どもの命を大切にしてほしい、などです。

自分のことを棚に上げて子どもに注意しないでほしい。けんかを売っているように偉そうな口調で注意する人がいる。注意するけれども自分もやっている。自分が悪いのに子どもを責める、などの意見があります。

【清原市長】 今日は残念ながら病気で欠席のLさんの分も言ってくれました。それではMさん。

【Mさん】 僕のクラスで出た結果です。話し合った結果、まずビルなどのガスなどを多く使う施設を減らして、緑をなるべく増やしてほしい、そして和めるような状況にしてほしいという意見と、大人には怒るときはしっかり怒って、しかしふだんは優しく接してくれて、相談などに乗ってくれるような環境をつくってほしいということです。あとは子どもが運動できるように、遊び場などを増やしてほしい、子どものことを見直してほしいということ。僕のクラスで出たのは以上です。

【清原市長】 次はNさん、お願いします。

【Nさん】 6年1組では犯罪をなくす、近所づき合いをもっと多くする、清潔なまちにする、あと自然をもっと大切に増やす、心がきれいな人にみんながなってほしい、楽しいまちで平和であるまち、みんなで協力できる近所づき合い、いつでも明るい、気軽に声をかけられる、名前もみんながなるべく知っているようにする、広い公園など遊ぶところをもっと増やしてほしいなどの意見が出ました。

【清原市長】 はい、それではOさん、お願いします。

【Oさん】 僕たち、小学校の6年2組で出たのは、人の命を大切にしてほしい、夫婦げんかをやめてほしい、自分の悪いところを認めてほしいです。人の命を大切にしてほしい理由は飲酒運転などで人が死んでいったりするので、やめてほしいです。夫婦げんかは子どもが大人になったときに、大人をばかにしてしまうのでやめてほしいです。あと、自分の悪いところを認めてほしいというのは、いいときはほめてもらって、悪いときはちゃんとしかってもらわないと、子どものほうが何をやってもいいんだと思って人を殺したりすることがあるからです。

【清原市長】 はい、Pさん、お願いします。

【Pさん】 私のクラスで出た意見は、親と子どもの環境を見ることです。例えば会話をしたり、休みの日に遊んだりほしい。子どもを大切にしない大人がいるから、子どもを大切にしてほしいという意見がありました。

【清原市長】 はい、Gさん、お願いします。

【Gさん】 僕は10年後、20年後になっても今と同じような快適な生活が送れるように、資源を大切に、環境改善に全力を尽くしてほしいと思います。

【清原市長】 はい、ありがとうございました。皆さんそれぞれ学校やクラスで話し合ったり、アンケートをしたりしたことを発表してもらいましたが、随分共通しているところがありましたね。1つ目が環境の問題について、Aさんが例えばエネルギーの問題を話してくれましたし、皆さんが、Gさんも環境問題を重視して今と同じように快適な環境をとということで、環境、エネルギーということについて指摘してくださる1つのテーマがありました。

2つ目には公園とか、遊び場とか、公共施設を整備してほしい。特に子どもの皆さんが使いやすいように、例えば照明の問題とか、ベンチも安全であるようにとか、安全性を重視した公共施設の取り組みをきちっとしてください。その1つに歩道の整備なども

含まれると思います。

3つ目には大人の皆さんにしてほしいこととして、第六小学校の皆さんが分けていただいたように、保護者の皆さんに期待すること、それから先生方、教師の皆さんに期待すること、さらには一般的にこの社会の大人の皆さんにこうあってほしいなということ、例えば、たばこのマナーを守ってほしいというようなことなどにあらわれています。

大きく、環境、エネルギーの問題、公園等公共施設の問題、それから3つ目に大人である教師や保護者やそして地域の皆さんとの関係の問題について皆さんが話し合ってくれたように思うので、それぞれもう少しずつ意見を聞きながら深めていきたいと思います。

最初に発言してくれたAさんがエネルギーの問題を言ってくれましたね。それは自分たちが成長していく上でどんなふうにエネルギーの問題を考えることが大切だというふうに話し合ったか、もう少し詳しく紹介してもらえますか。

【Aさん】 エネルギー多消費というのは、例えば化学物質とかの、エアコンとかにフロンガスの冷房が使われているじゃないですか。こういうエネルギーの消費、地球温暖化とか環境問題などに悪影響を及ぼす、そういう化学物質などを、今後できればなるべく減らしてほしい。

【清原市長】 安全の意味でも、地球環境の温暖化の防止する意味でも、エネルギーとか体に害のあるものを減らしてほしいということですね。はい。そのほか、エネルギーというか環境の問題では、Mさんの「ビルなどではガスを使わないで」という話し合いがなされたということですが、それはどういうことですか。

【Mさん】 例えばビルが多いと、そこでクーラーなど冷房を多く使ったり、あと、ごみを増やして燃やすごみ処理場などが多いと、燃やす際に二酸化炭素などが多く出てしまったり、ガスが出たりするので、そういうガスを出す施設が多いと、緑が現在少なくなっているので、二酸化炭素の光合成ができなくなってしまう可能性があるので、やめてほしい。

【清原市長】 地球環境とかエネルギーの問題を自分たちが成長していく上で大変大切な生きる環境に関わることだと話し合ってくれたようすがわかりました。

それではもう少し具体的に、地域の中に子どもの居場所というか、そういう場所がもう少しきちんとしたらいいなということで、やはりこれも最初に問題を報告してくれたBさんですけれども、具体的に公共施設といっても、子どもたちの成長のためにはどう

いう場所が特に必要だと話し合われましたか。

【Bさん】 運動ができる場所や、歴史ある建物を増やしてほしいという意見や、残してほしいという意見がありました。

【清原市長】 運動ができる場所。今、現在、運動、スポーツをするときには皆さんは、どういう場所を使っていますか。さっきサッカーをやっているといったOさんは、いつもはサッカーの練習はどこでしますか。

【Oさん】 学校です。

【清原市長】 学校の校庭で。ほかにサッカーをしていた場所、Mさん、場所はどこですか。

【Mさん】 学校です。

【清原市長】 やはり学校で。学校の校庭で運動、スポーツをすることが多いんですか。ほかに使っている施設でいいなと思うものは、Hさん。

【Hさん】 施設じゃないんですけれども、公園、広い公園。何もなくて広い公園で練習をしたりしています。

【清原市長】 なるほど。それは子どもたちにとっては使いやすいですか。

【Hさん】 はい、使いやすいんですけど、その、私が使っている公園で、急な坂が多くてそれでやっぱりちょっとまっ平らというか、そういう感じにしてやればやりやすいし、子どもにもけががないと思います。

【清原市長】 ほかにスポーツは...、Cさん、どうぞ。

【Cさん】 広くて、スポーツとかやるのに最適な場所があるんですけど、野球やサッカーをやめてくださいという札があって、ほかに、野球やサッカーができる公園がないので、やっている人はそれを破ったりすると怒られるし、だからといって学校の放課後で遊んだりする1年生とかもいて、もっと危なかったりするので、そういう広い公園だからこそ、そういうのを禁止するのではなくて、使えるようにしてほしいと思います。

【清原市長】 はい、ありがとうございました。ほかに公共施設ということでいえば、Dさんは歩道が危険であるというふうに、子どもたちが通学するときに、学校の登下校のとき、あるいはそのほか活動するときに歩道が危険だという声が出たんですか。

【Dさん】 歩道は広い場所と狭い場所があり、三鷹通りなどの大きい場所は十分歩道も広くなり、混雑も緩和されるのでいいんですが、中央通りなどは自転車などが歩道に多く放置されてあるので、それで歩道が狭くなり、そんなことで自転車などに接触して



けがをする場合があります。

【清原市長】 なるほど。歩く人と自転車に乗る人との共存ということが、特に子どもたちは体も小さいし、自転車が怖いというふうに感じることもあったりするということですね。

ほかに、公共施設ということではIさんからインターネットやそういう情報だけではなくて、もっと本を読む時間が欲しい、増やしてほしいという意見がありました。今、本を読む機会というのは、どういう時間が多いですか。

【Iさん】 例えば休み時間などに学校の図書室に行ったり、帰ってから近くにある図書館に行ったりとか。

【清原市長】 そうした本を読む時間はIさんは学校の図書室か、図書館で確保しているんだけど、ほかにもう少し本を読む場所や機会、本を読む時間が必要だということですか。

【Iさん】 はい。

【清原市長】 次に大きな3つ目として、皆さんはコミュニケーションという言葉を使ってくださいました。大人との会話をもっと増やしたい、こういうような会話の仕方にしてほしいということをお願いした人が多かったのも、そのことについてもう少し話を聞いてみたいと思います。

Eさんは、保護者とのコミュニケーションについてまとめて報告をしてくださいました。これは話し合ったり、アンケートの結果だったんですけども、Eさん自身は保護者との話し合う時間とか、一緒にいる時間は、6年生になってどうですか。多いと思いますか、それとももう少し話したいと思っていますか。

【Eさん】 個人的にはやっぱりだんだん自分のお父さんとかお母さんも忙しくなっていて、話す時間も減ってきているし、お父さんとか夜帰るのが遅いから、なかなか話せません。

【清原市長】 お父さんやお母さんとの会話の時間や中身について意見があるなという人はどうでしょう。Hさんはどうですか。お父さんやお母さんとの会話に何か注文ありますか。

【Hさん】 朝の「おはよう」というあいさつから私は始まるんですけど、それから「行ってらっしゃい」とかそういう言葉で、学校から帰ってきて夕食のときに話したりは、たまにするんですけど、やっぱりあまり満足に話してないですね。

【清原市長】 それは、小さいときから小学校6年生の今までを比べてみると、やはりだんだん学年が上がるにつれて会話の時間や中身が少なくなってきたなという感じがしますか。そうすると小さいときのほうがやっぱり一緒にいる時間も多し、話し合う内容も多かったような気がするけど、それがだんだん少なくなってきた。でもそれはひょっとしたら自分自身の時間や、お友達との時間が増えているということかもしれませんね。でも、あいさつから始まる、そういうのは大変重要なことだと思います。

Jさんは家族との会話でいえば、どうでしょう。家族と話し合っ、これは家族と話し合うと自分としては一番安心するなとか、こういう話は家族だとしやすいなというテーマはどんなテーマですか。

【Jさん】 学校でのクラブの話とか、そういう学校のことについて。

【清原市長】 学校のことについて話したいなと思うと、家族が一番話しやすい。その中身には時々、クラブの中で何となく難しいことがあったり、クラスで解決しなければならないことがあったときも、家族に相談することはありますか。

【Jさん】 たまにあります。

【清原市長】 たまにありますか。Kさんは先ほど、もっと大人に子どもの声を聞いてほしいというような話し合いを学校ではしたということなんですけれども、皆さんと話し合っているときに、大人に話してもなかなか聞いてもらえないというような意見はなかったんですか。どうでしょう。

【Kさん】 そういう意見も多かったけど、お母さんも働いているから、家では1人でいたり、きょうだいでいたりする時間が長くて、親と話している時間が少ない人もいると思います。

【清原市長】 皆さんは保護者と話したいな、話す時間がもう少しあったらなというふうに、何となく学年が上がるごとに思う気持ちがあって、大人が忙しいと思わないで時間を確保してくれたらなあというようなことが共通してあるんでしょうかね。

その中で先ほど、保護者の皆さんにはもう少し一緒にいる時間を増やしてほしいとか、子どもたちの主張を聞いてほしいとか、子どもの立場を尊重してほしいという意見も聞かれましたけれども、さっきPさんも親と子どもの関係というのが大切って言ってくれたんですけど、親と子どもの関係の話をしたときには、話すこと以外に、例えばどういふふうな時間を一緒に過ごしたことが皆さんにとってはとっても印象的とか、楽しかったとかという声がありましたか。

【Pさん】 日曜日とか仕事がないときに、サッカーをやっているの、お父さんとかが一緒に公園にいて自主練習とかをしているときとか.....。

【清原市長】 やっぱり一緒に食事をするとか、一緒にサッカーをするとか、遊ぶとか、例えばお買い物をするとか、そうやって一緒のことを保護者の皆さんとしているということが、とても楽しかったことですね。

Nさんは、どうでしょう、家族との関係でこういう時間はとても楽しいとか、家族といる時間が大切だと思うのはどういふときですか。

【Nさん】 うちは大体春休みとかに家族でバーベキューとかに行くんですけど、そういうときに家族のみんなが集まってやるんですけど、何となくいい感じです。

【清原市長】 やっぱり一緒の経験を家族ですということが皆さんにとっても楽しいし、充実しているということですね。それではFさんは、ちょうど学校のアンケートでは先生に対して期待することを先ほど報告をしてくれました。保護者に対するのと先生に対するのと、ちょっと違いがあるようですとも言ってくれたんですけど、先生には特に保護者と違って皆さんが期待していることはどんなことが一番大きいですか。

【Fさん】 個人的には先生と個人で相談する時間が少ないと思います。なので、そういう相談する環境をつくることを期待してます。

【清原市長】 皆さんはどうですか。先生と1対1で短い時間でも話したり、相談したりした経験のある人いますか。これはなかなかプライバシーにかかわるから、どんなことを相談したかって聞きにくいですが、言える人いますか。先生とこんなこと、相談しましたよって。じゃあ、Oさん、お願いします。

【Oさん】 前に僕が友達と遊んでいたときに、学校から帰るときに、靴の中に画鋸が入っていたので、それで話し合いになって、一人一人に聞いたんですけど、犯人がわからない状態になって、そうしたら自分から謝りに来てくれる人がいたんですけど、それで先生と話し合って解決しました。

【清原市長】 言いにくい話をありがとう。でもそういう、お友達同士で、あるいは学校で何かあったことを解決するときに、先生が相談相手として頼りがいがあったという例でしたね。いろいろな内容はあると思うんですが、1人でも先生と相談することができる時間がもう少しあったらなということですね。

それから地域全体のことで、特に保護者でもなく、また学校の先生でもない大人に対しても、皆さんから要望がありました。例えば、たばこを吸わないでというのがありま

したね。それから、これはやけどをしたことがあるからっていうことでしたよね。こうして直接知らない人とでもまちでは出会いますよね。そういう大人たちに共通していることに、皆さん何人かが犯罪をなくしてほしいというふうに言ってくれました。Iさん、犯罪をなくしてほしいというふうに決めたのは、特にどんな話し合いの中から犯罪をなくしてほしいという声が上がりましたか。

【Iさん】 身の回りで最近よくニュースや新聞などで、ものすごく多くの犯罪や、子どもが犯した犯罪が取り上げられていて、それがクラスの人の中で目についている人が多いんだと思います。それでそういう犯罪をなくすには、まず周りの大人の人がそういうことを、例えば子どもが犯した犯罪ならそういうことが起きる前に大人がちゃんとそういうことを子どもに言わなくちゃいけないし、大人自身が犯罪を犯すなんてことは、ほんとうはないほうがいいことだし、大人が子どもを殺してしまったりということはもっとないほうがいいと思います。

【清原市長】 はい、ありがとう。Iさんが今言ったように、さまざまなニュースで子どもがかかわる犯罪が多いという意見があったりしますけど、何か犯罪について意見のある人いますか。それでは大人のマナーという点では、学校で皆さん話し合ったときに、マナーについて検討してほしいというふうにおっしゃったようですが、Oさん、何か補足することありますか。

【Oさん】 マナーというと、大人はいつものように、子どもと一緒に過ごしているときに、大人の中でも言い合いとか争いが始まることがあります。それで子どもがそれを見て、あまりにも、親もこういうものなのかと思って、そのとき感じた怒りの気持ちが大人になったときに出てきてしまうと思います。

【清原市長】 なるほど。ありがとう。夫婦げんかはしないでほしいという大変重要な提案があって、それは子どもたちにも伝わるし、ひょっとしたら戦争にもつながるかもしれないという話し合いをしてくれたようですね。大人のけんかは、夫婦げんかであれ、何らかの言い争いであれ、皆さんにとってはとても悲しい、傷つくことになるんですね。Cさんは何か、大人のマナーで保護者とか教師ではなくて、一般的な大人のマナーで気になることはありますか。

【Cさん】 私たちの学校では、地域の人にあいさつをしましょうという意見が結構多いです。今週の目標とかでも言われているんですけど、それで4年生とか5年生の人が、大人に「こんにちは」って言ったんですけど、あいさつをしても返してくれないといっ

て、ちょっとショックだったという意見がありました。

【清原市長】 はい、ありがとうございました。皆さんはあいさつ、あるいはコミュニケーションという大切な言葉を学校で話し合っ、先ほどご提案してくれました。人が触れ合っ、あいさつをする、そしてそれが返っ、そういうことがだれであろうと大切 なわけですね。

( 休 憩 )

【清原市長】 それでは今度は2つ目のテーマに移りますね。「自分たちが大切にしなければならぬこと」というテーマに移ります。今度はPさんから、それぞれで話し合っ、てきたことや、あるいはアンケート等で調べたことを話していただきます。それでは自分たちが大切にしなければならぬこと、お願いします。

【Pさん】 かけがいのないこととして、今の友達やいろいろな人を大切にしていじめをなくすこと、あいさつをするということが出ました。

【清原市長】 いじめをなくして、あいさつをするということですね。Oさん、どうぞ。

【Oさん】 親が大切にす、その場その場で心遣いや相手の気持ちを考へて行動する、いけないものに手を出さない、人を大切にす、友情を大切にす。

【清原市長】 友情を大切にす、ですね。じゃあ、Nさん。

【Nさん】 いろいろな人と話をす。自然を大切にす。ポイ捨てをしな。ちゃんと話す。ものを大切にす。みんなに悪いことをしな。犯罪を許さない強い気持ちといろいろな活動に参加するというのが出ました。

【清原市長】 はい、それではMさん。

【Mさん】 僕のクラスでは、いじめてはいけないなどの心がけを持っ、友達との友情などを大切にすということと、あと、いろいろな問題を解決するために勉強を頑張ったりして、いろいろな問題について多くのことを深く考へるということと、楽しくやさしく接して、明るく人と会ったり、友達と会ったりして、あいさつも大切にすということが出ました。

【清原市長】 はい、それではKさん。

【Kさん】 はい。私たちのクラス、1組では、夢、将来、家族兄弟、友達、体、命、食べ物、気持ちなどが出ました。それから、親に感謝の気持ちが足りない。生んでくれ、育ててくれた親に対する生意気な口をきいている。自分たちのためにいろいろやっ、てくれているのにやっ、てもらって当たり前のような態度をとっている。これから成長してい

く体を大切にしていこうがよい。食べ物は好き嫌いをしない。大人の言うことは聞くべき。長く生きていて、その分、いろいろな経験をしているから。明らかに変な人のことを言うことは聞くべきではない。そのときは考えが違って、後になって正しさがわかると思う。どんなことでも自分で判断して行動すべき。並んでいるとき自分のことだけを考えて、後の人のことは考えていないのはよくない。電車の中でマナーを気をつけたい。大音量で音楽を聞いたり、周りの人のことを考えていない人がいる。大声で話すなど迷惑なこと。いじめをしないようにしたい。傷つき、自殺してしまう人がいる。相手のことを考えていない。いじめられている人の気持ちを考えていない。自分がされて怖くて何もしてあげられなかった。悪いことだとわかっているのにやってしまった。自分のことだけ考えていて、見て見ぬふりをしていた、などがありました。

【清原市長】 はい、Jさん、お願いします。

【Jさん】 私たち、小の6年1組が出た意見は自分が言ったことを責任を持つこと。あいさつは心を込めて言うこと。親切な気持ちを持って人と接すること。ごみなどが落ちていたら拾ってごみ箱に捨てること。人が傷つくことは言わないこと。いじめなどをしないで友達と協力して仲よくすること。そういう意見が出ました。

【清原市長】 はい、ありがとう。Iさん。

【Iさん】 はい。6年2組では仲間はずれをなくし、一人一人を大事にすること。みんな仲よくして協力し、いじめをなくすこと。みんなの気持ちを大切にし、自殺をなくすこと。差別をなくす。子どもも自然を大切にすること。いじめをなくす。子どもは大人の言うことをしっかり聞く。子どもたちは酒などを飲んではいけない、などの意見が出ました。そして結果、子どもは一人一人のことを大切にし、いじめたり暴言を吐いたりしてはいけないという結果になりました。

【清原市長】 はい、Hさん、お願いします。

【Hさん】 はい。図書室の本で、本を見ていたら本が破れていたり、落書きがしてあったり、そういうことと、学校が終わった後の放課後のボールで散らばっているんですけど、それを片づけることと、給食を残してしまうと、つくった人とかがすごくかわいそうという感じになる。あとは友達を傷つけないことと、団結をするということ。小ではあいさつは心のリボンということで、すごく学校中で気をつけていることです。

【清原市長】 はい、Gさん。

【Gさん】 僕はこの地域特有の文化や、工芸品を受け継いでいければいいと思う。

【清原市長】 文化の継承。 はい、それではFさん。

【Fさん】 小では自分自身の健康、命、優しい心、思いやりの気持ち、仲間を大切にすること、勉強、家族、言葉遣いというのが出ました。大人が子どもに大切にしてほしいことと同じような意見になることと思います。一番多かったのは自分の命、健康、思いやり、優しさ、友達を大切にする、でした。広い言葉での答え方ですが、私たちはどんな生活をするのが、そういうことを大切にしているかを考え、態度にあらわしていくことが必要だと思います。どんな生活をしていることが自分の健康や命を大切にしていると言えるのか、どんな行動が思いやりのある人だと言われるのか、どんなふうに友達を大切にして生活をすればよいのかを考えることも大切だと思います。

【清原市長】 はい、Eさん、どうぞ。

【Eさん】 僕は個人的には自然などを大切にすることが大事だと思います。それでポイ捨てとかはしてはいけないし、大人に何か、たばこをやめろとか、いろいろ言っているのに自分たちができていないとだめだし、自分たちが大人に言っているようなことを、大人になってもやらないようにすることが大切だと思います。あと自然に関しては緑化を進める、緑の羽根募金を実施して、例年よりすごくたくさんのお金が集まって、とてもみんなが緑化を進めようとしている感じが出てました。

【清原市長】 はい。それではDさん。

【Dさん】 はい。まず、僕のクラスの5年生のころの週予定表に、「ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン」というのが書かれていました。そのとおりで、ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワンとは、みんなは1人のために、1人はみんなのためにが日本語訳です。1人はみんなに、みんなは一人一人に思いやりを持つことが大切です。あとはニュースとかで毎日殺人事件が多くニュースに出ております。防犯ブザーを持っている人もおりますが、緊張感とかを感じない人もいます。防犯ブザーを持っていない人は、いつ事件に巻き込まれてもおかしくないような状況にあることです。そのほかに障がい者やお年寄りなどに思いやりを持つことが大切です。以上です。

【清原市長】 はい、Cさん、お願いします。

【Cさん】 さっき、公共の施設でも出たんですけど、やっぱりそのマナーというかルールというものを守ることと、せっかく三鷹というところに生まれて育てているから、三鷹のすごいところを自分たちで守っていかなければ、せっかく東京都の中で、すごく緑のある三鷹市なので、そういうことを重要だと思って大切にしないといけないなと思

います。

【清原市長】 はい、Bさん、お願いします。

【Bさん】 私たちのところでは三鷹市民の交流できる場所をもっとつくるというのと、周りの人を思い合う心と、次に使う人たちの心がけ、交通ルールのマナーを守ることです。

【清原市長】 Aさん、お願いします。

【Aさん】 友達を大切にする、ものを大切にする。まず人を大切にするには、ものから大切にしたいほうがいいと思うので。そしてボランティア活動に積極的に参加する。決まりを守る。大人になって決まりを守れなかったら、子どもがまねをするので決まりは守ってください。少子高齢化でお年寄りが増えているので、お年寄りを大切にして、いろいろなことを教えてもらおう。大人になってお金の使い方に困ると思うので、子どものうちにちゃんとお金の使い方を勉強する。自分の意見を大切にする。少しのごみだからといってポイ捨てをしない。ニュースを見て知識を蓄える。昔からある歴史あるものを大切にする。日本中のモラルが低下しているので、子どものときからモラルについて学んでおく。

【清原市長】 はい、ありがとうございました。大人にしてほしいこと以上に、自分たちがしなければならないことをたくさん挙げてもらいました。

1つには皆さんは自分自身の体、健康、命を大切にすることを挙げてくれました。

2つ目には親を大切にする。きょうだいとの関係を含めて、そうした家族を大切にすることを挙げてくれました。3つ目には友情という、大切な言葉を多くの皆さんが言ってくださいました。いじめをなくし、そして友情を大切にすることを挙げてくれました。4つ目にはそうしたことを進めていく上で、さらにあいさつ、親切、人間関係についても触れてくれまして、特にこのことは基本的なことですけれども、皆さんが障がい者の皆さんや高齢者の皆さんへの思いやりを大切に、一人一人のことを大切にすることを挙げてくれました。これは言い換えれば人権の尊重ということになると思います。そして5番目に挙げたのが、さまざまな社会課題を解決するために勉強する、考えるということも挙げてくれました。

そして次に、これ6番目になるんですけども、子どもとして、その問題を解決する上で、例えばボランティアをする、社会ルール、社会マナーを守るというような、同じ社会の一員として社会のマナーやルールを守ること子どもに必要なことと指摘して



くれました。そして最後に、文化の継承とか、自然を守るとか、今ある文化とか自然、緑を守るといふ、今あるものを維持するのも子どもたちがかわれるのではないかということを挙げてくれました。

大きく7つに分けましたけれども、それぞれ重なり合う部分もあるんですが、大変大切なことを入れてくれましたので、一言ずつぐらいになりますけれども補足をしてもらいたいと思います。

体、健康、命を大切にということを書いてくれました。皆さん、自分の体、健康、命を大切にするために、特に心がけていることがある人いますか。はい、Kさん、どうぞ。

【Kさん】 好き嫌いをしない。

【清原市長】 なるほど。好き嫌いをしない。はい、ほかに。Oさんどうぞ。

【Oさん】 体の管理をする。寒くなったらコートなど着て、暑くなったら脱ぐ。

【清原市長】 なるほどね。ほかに。はい、Mさん、どうぞ。

【Mさん】 親に頼んで、バランスよくご飯をつくってもらう。適度な運動を心がけています。

【清原市長】 はい、じゃあ、Aさん、どうぞ。

【Aさん】 大きくなるに連れて心の成長もしていくので、社会に出るために友達のかかり方とか。

【清原市長】 心の健康のためには、そういう人間関係、友達との関係が大事なことね。Bさんは。

【Bさん】 早く寝る。早く起きる。よく食べる。

【清原市長】 基本的な生活習慣ですね。早寝、早起き。栄養のバランス。まだ、手が挙げられますか。ほかに。いいですか。Fさん、どうぞ。

【Fさん】 はい、手洗い、うがいをする。

【清原市長】 なるほど。基本的な生活習慣について、皆さん努めていくこと、あるいは友人関係をちゃんとすることが心と体の健康、成長のために必要だと。かなり自覚的に努力をしてくれていることがわかりました。

次に親を尊敬することが大事だと言ってくれました。親のひとりとして感謝をしたいと思いますが、Oさん、親を大切にすることをおっしゃってくれたでしょう。親を大切にすると具体的にどんなことですか。

【Oさん】 大人にしてほしいことで、親と子どもの関係をもっと深めると出たので、

その親と子どもの関係を深めるためには親だけでなく子どもも自分から接していくことが必要だと思います。

【清原市長】 子どもから親に働きかけることも大事だと。ありがたいですね。それでは親との関係で子どもが自分から働きかけるというのがありました。ほかに提案のある人いますか。はい、どうぞ。Kさん。

【Kさん】 親と話したり。

【清原市長】 親と話す機会ですね。ほかにどうですか。はい、Iさん、どうぞ。

【Iさん】 たまには親の手伝いをしたりする。

【清原市長】 家事を手伝う。そうですね。Mさんも栄養のバランスのとれた食事を一緒に親と、お母さん、お父さんをつくってもらうかもしれませんね。はい、どうぞ、Eさん。

【Eさん】 一緒に運動をしたりする。触れ合う。

【清原市長】 触れ合う。なるほど。Eさんはどういう運動だったら親と、お父さん、お母さんとできそうですか。

【Eさん】 お父さんとはたまにサッカーをします。

【清原市長】 サッカーをする。なるほどね。一緒に運動をする。自分たちから働きかける。お手伝いをする。いろいろな例が挙がりましたね。

それでは次に大切な友情です。皆さんはほとんど昼間の時間、学校で過ごしていますね。その中で多くのお友達が「友情」というキーワードから話してくれました。Fさんは「仲間」という言葉を使ってくれましたよね。話し合いの中で仲間という言葉。どういうときにお友達は仲間という感じになりますか。

【Fさん】 はい。何か協力してものごとをなし遂げたりとか、そういう達成感があつたときに、何か仲間というものを感ずる。

【清原市長】 同じ目標を一緒にしたとき。クラブ活動とかですね。Dさんはどうでしょう。今、英語で言ってくれたんですね。ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン、1人はみんなのために、みんなは1人のために、と言ってくれたんですね。この一人一人のことを大切にするというのは皆さんいろいろな言い方をしてくれましたけれども、友情というのはどんなときに強く感ずますか。

【Dさん】 友情というのは友達と一緒に協力して何かをなし遂げたときとか、友達と一緒に運動したり、勉強したりするときに友情だなと感ずます。

【清原市長】 同じように勉強したり、一緒に遊んだり、クラブ活動したり、あるいは班活動したりするときに、そんなことを感じると思うんですが、あわせて皆さんの中にはそれでもいじめをしないとか、仲間はずれをしないとかそういう言葉も出てきました。どうしてもいろいろな活動をしているときに、いじめといわれるようなことも起こるでしょう。いじめというのは皆さんはどんなときにいじめがあると感じますか。はい、たくさん手が挙がりましたが、じゃあまずAさんから。

【Aさん】 その人が近寄ってきたときに離れたり、差別をしたり、その人を避けているということ。

【清原市長】 なるほど。その避ける原因は特にあるんですか。

【Aさん】 避ける原因とかは、その人が下品というか、そういうふうにしたたり、罵声を受けたりするところ。

【清原市長】 きっかけはあるんだけど、それを避けたりするときにいじめなんだなと感じる。Eさんはどうでしょうか。

【Eさん】 仲間はずれとかで、その原因とかは何か地方から来た子どもとかで発音が違ってたりとか、なまっていたりとかしたりしたときからかわれたりとか。

【清原市長】 何か、全体と違うことがちょっとあると、からかわれたりすると、それをしてしまうのは、意識して皆さんしているんでしょうか。それとも何となく、気がついたら。

【Eさん】 わからない。

【清原市長】 わからないけど、そんなことが起こっていた。Kさんはさっき手が挙がりましたが、いじめってどんなこと。

【Kさん】 何もやっていないのに、いきなり殴られたりとか、いきなり暴力をされたりとか、いきなり顔に水をかけられたりとか、いきなり机に水をかけられたりとか、輪ゴムで打たれたりとか、いっぱいやられたりとか。

【清原市長】 そういうときにそれはいけないなと、いじめだなと思っているわけね。Oさんはどうですか。

【Oさん】 学校内で1人の子を集団で蹴ったり殴ったりするというのがあったりして、前、上履きをとって遊んでいたら、やめろと言った子の頭をつかんでコンクリートの壁に向かって思い切り殴りつけて、その子の頭が切れて、出血しちゃったという事件があったので、それはよくない。

【清原市長】 Nさんはそういうようなことがもしあったとしたら、Nさんなら、どうしたらいじめをなくすことができると思いますか。

【Nさん】 見て見ぬふりをするんじゃないで、いけないと思っている人たちと一緒に話し合ったり、先生に相談する。

【清原市長】 話し合ったり、先生に相談するということですね。Jさんはもし、そういうような状況があったら、どうしたら、それを解決できると考えますか。

【Jさん】 先生に相談したり、いじめている子にいけないことはやっちゃいけないし、友達と接することは大切だからって。

【清原市長】 なるほどね。ちゃんと向き合ってね。はい、どうぞ。Aさん。

【Aさん】 人間には、仕方ないけど好き嫌いというものがあるので、やっぱりそういうところは耐えて、もし自分が嫌いな人がいてもそうするべきだと思います。

【清原市長】 なるほど。人にはどうしても何となく合わないなとか、嫌いだなということがあるかもしれないけど、それを我慢することも大切だということですね。Gさんはもし、今言いたいじめのような状況があったら、どうしたらいいと思いますか。

【Gさん】 やっぱりまず、いじめている人に話してみる。

【清原市長】 なるほど。とにかく話し合う、向き合うということが大事だというふうにみんなは考えてくれました。それではそうした、何となく人には好き嫌いがあったり、何かウマが合わないなとか、何か雰囲気うまいかないなということがあるかもしれませんが。けれどもそうしたことを少なくするために皆さんはあいさつをしたり、お互いに親切にし合ったり、そしてさまざまな関係を豊かにするという中で、これは先ほど、あとにあった、ボランティアと関係するんですけど、Eさんは最近、緑化募金というのをやったときに大変盛り上がり、たくさん募金ができたということを書いてくれたけど、それは学校で実行したんですか。

【Eさん】 代表委員という委員会が実施しました。

【清原市長】 これは毎年実施していることなんですか。

【Eさん】 はい。

【清原市長】 これは皆さんに緑化のために募金をやるということなんですね。

【Eさん】 緑化募金してくれた人には、緑の羽をつける。

【清原市長】 なるほど。あと、ボランティアということでは、Aさんもボランティアということのをさっき紹介してくれました。社会に向けて自分たちが子どもとして過ごし

ているんだから、何かできることをしていくことも大事だと言ってくれました。具体的にはどんなことができそうですか。

【Aさん】 駅や公園などの掃除とか、お年寄りとか、つえをついたり、車いすに乗っている人が階段を上ったりするのを手伝ってあげたりとか、信号を渡るのに、大荷物を持っている人とかを手伝ったりとか、そういうこと。

【清原市長】 なるほどね。Bさんは何か、子どもだけでも地域社会のためにとか、学校以外で何か、心がけていた経験ありますか。小さな親切とか、何か高齢者の方を手伝ったとか、経験はありますか。

【Bさん】 電車の中で席を譲るとか。

【清原市長】 席を譲ってくれる。なるほどね。こうしたことのほかにMさんが社会の課題を解決するために勉強する、考えるということを言ってくれました。今、例えばどんな問題が重要だというふうに、そのときは話し合われましたか。

【Mさん】 そのときはやはり最近、自殺などが多いので、いじめの実態について話し合ったり、もう一つが地球の温暖化についてどう節約すればいいなどの話し合いをしました。

【清原市長】 なるほど。そういう地球温暖化だとか、非行とか、虐待とか犯罪とかを解決するためには、勉強しなければいけないということを話し合ったんですね。

【Mさん】 例えば、心について、あいさつを心がけるなど、そういうことについて特に勉強したらいいのではないかとということがありました。

【清原市長】 特に大人にしてほしいことの中にもエネルギーとか、地球環境、温暖化防止とか、環境の問題も皆さん話し合いましたが、それを解決するにはやはり行動も大事ですけど、今、言ってくれたように勉強することも大事だということをお話し合ってくれたんですね。

あと、Gさんは文化の継承ということをおっしゃいました。大切なものは自分たち子どもも引き継いでいこうということをお話し合ってくれたんですね。具体的にはどんなことを続けていこうというふうに考えていますか。

【Gさん】 その地域でしかやっていないお祭りとか、昔からある行事とかを継いでいけばいいと思う。

【清原市長】 なるほど。緑の環境を守っていくことも大事だし、お祭りとか行事とか、そうした地域に根づいているものも子どもたちが続けていくものは続けていこう、こん

な話し合いもできたようです。

今日は、「みたか子どもサミット～三鷹子ども憲章をつくるための子どもミーティング(第1回目)～」として、まず前半は自分たちが成長していく上で大人に大切にしてほしいことについて話し合ってもらいました。エネルギーをはじめ、環境の問題、公共施設の問題、人間関係として保護者や教師や社会全体に期待していることを話し合ってもらいました。

今度は自分たちが大切にしなければならないことで、皆さん自身の第1には体、健康づくり。第2には親、家族。第3には友情を大切に、いじめをなくそう。そしてだからこそ4番目にあいさつや親切、人間関係を大事にすること。そして5番目には社会課題を解決するために勉強し、考えていく。そして6番目には皆さんでこうしたことを実現していくために、みずからも社会ルールやマナーを守り、ポイ捨てや本を破ったりしない。給食も残さないようにする。お金の使い方もしっかり考えていく。そしていけないことをしないというようなことも挙げてくれましたよね。そしてこうした責任を果たしていく上で、文化の継承、緑を大切にすることなどを通して、自分たちもボランティアをしたりして、ぜひ実際に社会の中で子どもたちの責任を果たしていこう、こういうような提案をしてもらいました。はい、どうぞ。

【Bさん】 さっき自分たちが成長していく上で大人に大切にしてほしいことで、言い忘れたことがあります。地球温暖化で緑を増やすというのと、ポイ捨てをやめてほしい、たばこや車を使わない日をつくってほしい。理由はおいが嫌だから、地球温暖化にもつながるからというので、子どもに有害なものをなくしてほしい、税金について計画的に使ってほしい。公共施設のトイレ、電話をきれいにしてほしい。トイレトペーパーがないときがある。次の人のためにきれいにしてほしい。信号無視をやめてほしい。近いところへいくときに車を使わないでほしい。近いところに行くのなら歩いていく。ガソリンのお金は高くなっているし、地球温暖化にもつながるので、近いところに車で行かないでほしい。歩いていくのが一石二鳥だ。いじめに早く気づいてほしい。人の命を大切にしてほしい。家で毎日学校のことを話すとの意見がありました。

【清原市長】 Eさん。

【Eさん】 小では市長さんたちをお願いしたいことがありますかというアンケートをとったんですけど、特に多かったのが、自然や緑を増やしてほしいや、公園など遊べる公共施設を増やしてほしいなどでした。

【清原市長】 はい、Hさん、どうぞ。

【Hさん】 ガスをいっぱい出す工場を少なくしてほしいということと、子どもが遊べる施設とかアスレチックを増やしてほしいです。

【清原市長】 はい、どうぞCさん。

【Cさん】 小で、今度自然教室行ったりするんですけど、三鷹市は結構広いんですけど、やっぱり知らないところとか緑を少しずつでもいいから守っていけたら、そういうふうなことができるんじゃないかなと思います。

【清原市長】 はい、Iさん。

【Iさん】 本を読む機会もそうなんだけど、例えば学校に本を増やすとか、そういう本を読みやすくするような環境をつくってほしい。それでどうして本かというと、インターネットやそういうものは、情報を得られたりする便利な反面、電波やそういうもので私たち子どもによくないこともあるし、本の場合は読み過ぎたり、暗いところで読んだりしなければ、その分、知識や情報が楽しく身についたりおもしろくわかるからです。

【清原市長】 はい、ありがとうございました。いろいろなご意見をいただきました。皆さんは、お友達や今日初めて会ったほかの学校の6年生の皆さんの意見を聞いて、はっと思いついたりしたかもしれませんが、どうぞそれはまた学校で話し合っ、私たちに何かあればメモして出してもらえればなと思います。

あっという間の2時間だったでしょうか。それとも長い2時間だったでしょうか。今日は1日授業があったわけですから、皆さんにとっては放課後の大切な2時間を三鷹市の「子どもサミット」のために割っていただきました。このことに心から感謝します。皆様の声を聞いて、これをできる限り反映したいと思いますが、私もかつては子どもでしたが、でも今の時代の子どもの皆さんと、私が育った時代は違うわけですから、おとなの皆さんと同じこともあるでしょうし、違うこともあります。私たちは子どもの皆さんを尊重して、私自身も大人として皆さんから尊重されるような、そういう大人でありたいと思います。相互に尊重し合いながら、尊敬し合いながら、敬い合いながら、この地域社会でそれぞれ伸びやかに暮らしていきたいと思います。今日の皆さんの参加に心から感謝を申し上げます。これからそれぞれ野外教室、川上村へいく予定などもあって、どきどき、わくわくだと思いますけれども、気をつけて、この6年生のあと残された日々を思い出深く過ごしてください。今日はほんとうにありがとうございました。

【司会】 どうもありがとうございました。